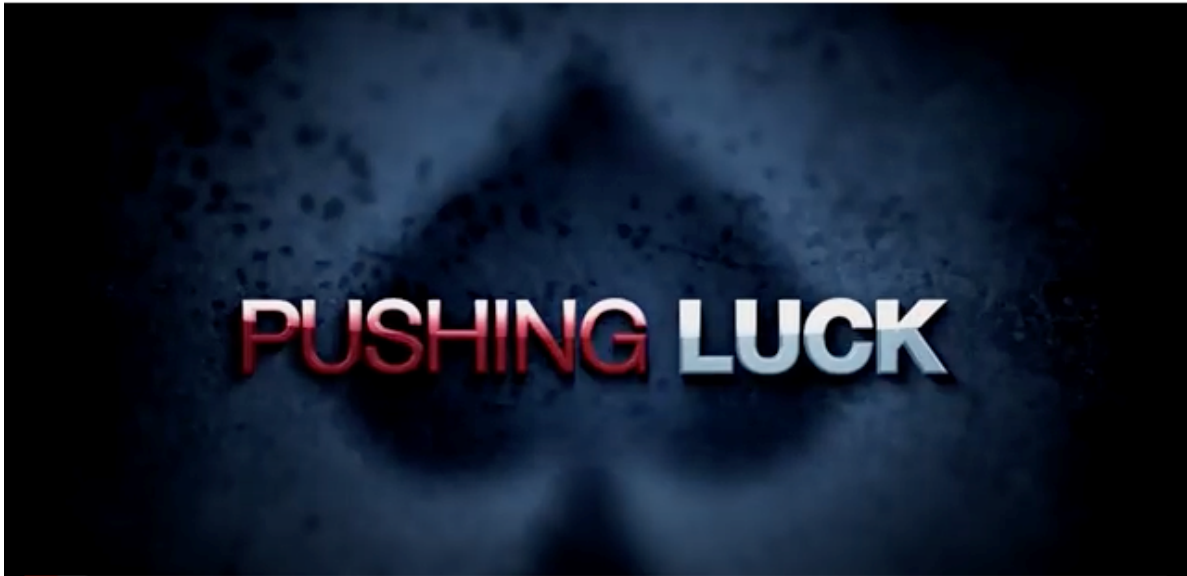
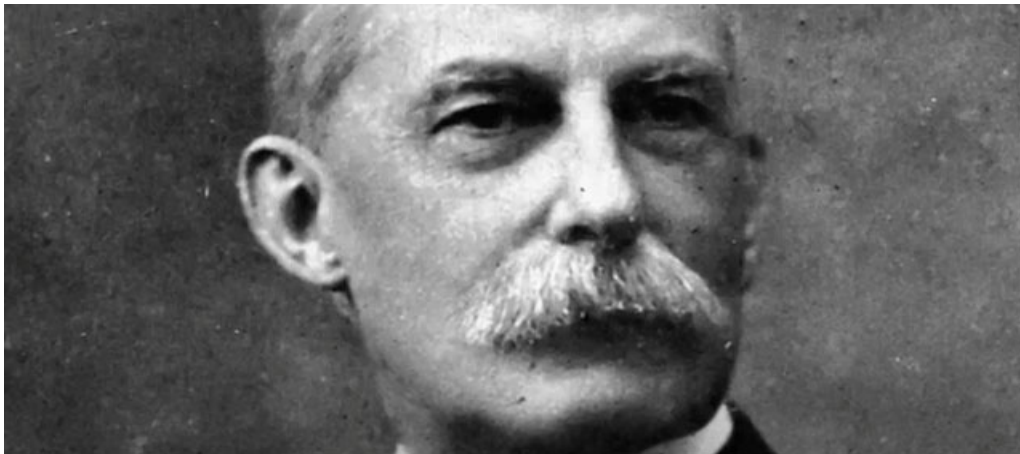


Pushing Luck# -a NoCasino.org Documentary.

運の無理強い



あなたがほんの少しを与えるなら、ギャンブルはあなたからそれ以上の膨大なものを奪っていくでしょう。立法者や有権者がギャンブルを許可した後、ギャンブルビジネスが当初の想定内で終わるという例はありません。一般の業界では、「ほんの少しだけやります。また、この場所でしかやりません。」という約束をする必要はありません。もし本当に素晴らしいものであれば、どこにでも存在しているのではないのでしょうか。



ヘンリー・フラッグラーは賭け事をする男ではありませんでしたが、この鉄道王がフロリダに最初のカジノ、バックスクラブカジノを建設しました。



1888 年のポンセデレオンです。彼を訪問するゲストのもてなしにバックスクラブはとても便利でお洒落でしたが、違法でした。当時は激動の時代でした。その 10 年前、フロリダは物議を醸した大統領選挙で極めて重要な役割を果たしていました。葉巻製造は依然として州のトップ産業にランクされており、サントペテルブルク新聞はちょうど週刊行になったところでした。フロリダはまだ発展しておらず、今のような観光地ではなく野生で無法の未開拓地でした。



1820 年代のフロリダの地方政府が定めた初期の法令のいくつかは、競馬や宝くじ、およびそのようなギャンブルの禁止を唄っています。

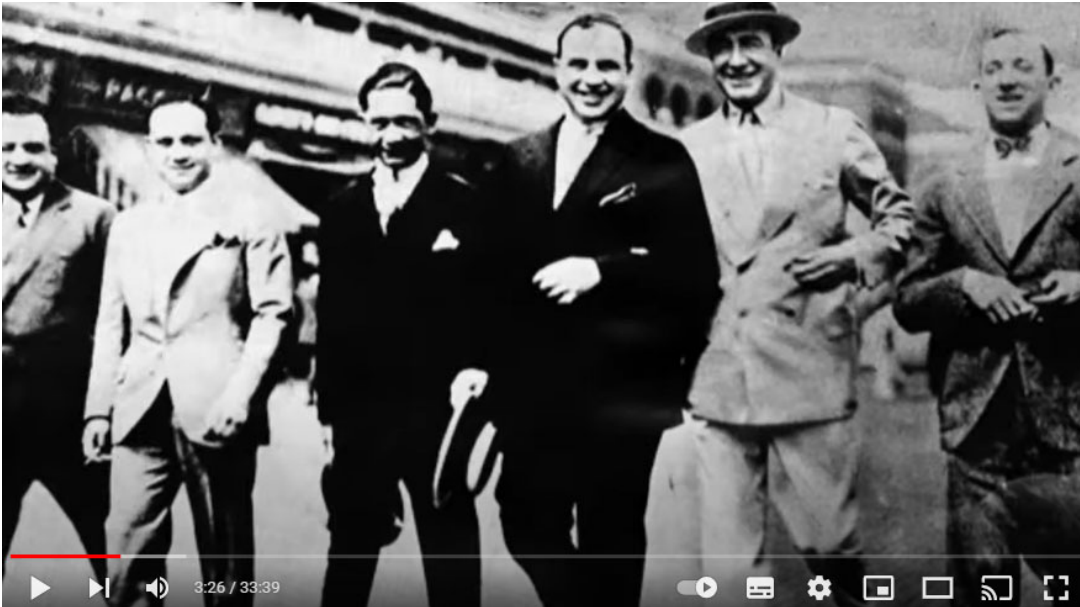


『小さな無害な遊び』

20 世紀初頭にはギャンブルは普及していき、もはや少数の裕福な人達の遊びではありませんでした。ギャンブルによって、フロリダは国内で権力のあるならず者達の避難所へと変わっていきました。



1920 年代に、フロリダは、私達が知っている今日のフロリダになっていきました。フロリダの成長は早く、もはや小さな片田舎の町ではなく、新しく開発された町になっていきました。また、道端のカフェやホテルやガソリンスタンドには法律で認められたギャンブル専用のエリアが設置されていることが多々ありました。



アル・カポネやマイヤー・ランスキーなどの悪名高い犯罪組織のボスは、フロリダのタンパ市に前哨基地を設けました。これは、ボリータや他の形式のギャンブルの温床になりました。やがてタンパ市でのギャンブルの在り方やギャング関係の殺害により、タンパ市は「小さなシカゴ」と呼ばれるようになりました。組織化されたギャンブルは選挙に影響を及ぼし、それが甚大な腐敗の原因となっていきました。

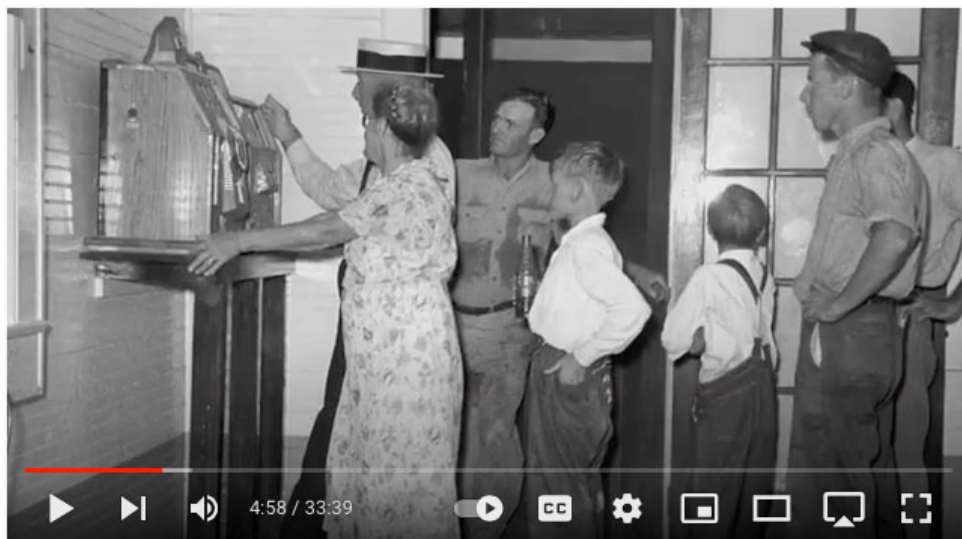


1929年に株式市場が暴落したとき、フロリダのブームはすでに崩壊していました。ハリケーンにより南フロリダでは数千人の死者を出し、柑橘類産業が作物の病気により壊滅的なダメージを受け、フロリダの地価は暴落しました。フロリダは弱体化し、収入を切望していたので、ギャンブル産業で運試しをすることにしました。



20 世紀のフロリダでは、合法であるギャンブルの唯一の形態はドッグレースやハイアライなどのパリミューチュエル方式のみでした。

政治的な約束と高い期待にもかかわらず、ギャンブルの拡大は収益の問題を解決しませんでした。そのため、州の収入源に必死の地方議員達はギャンブルを倍増させました。



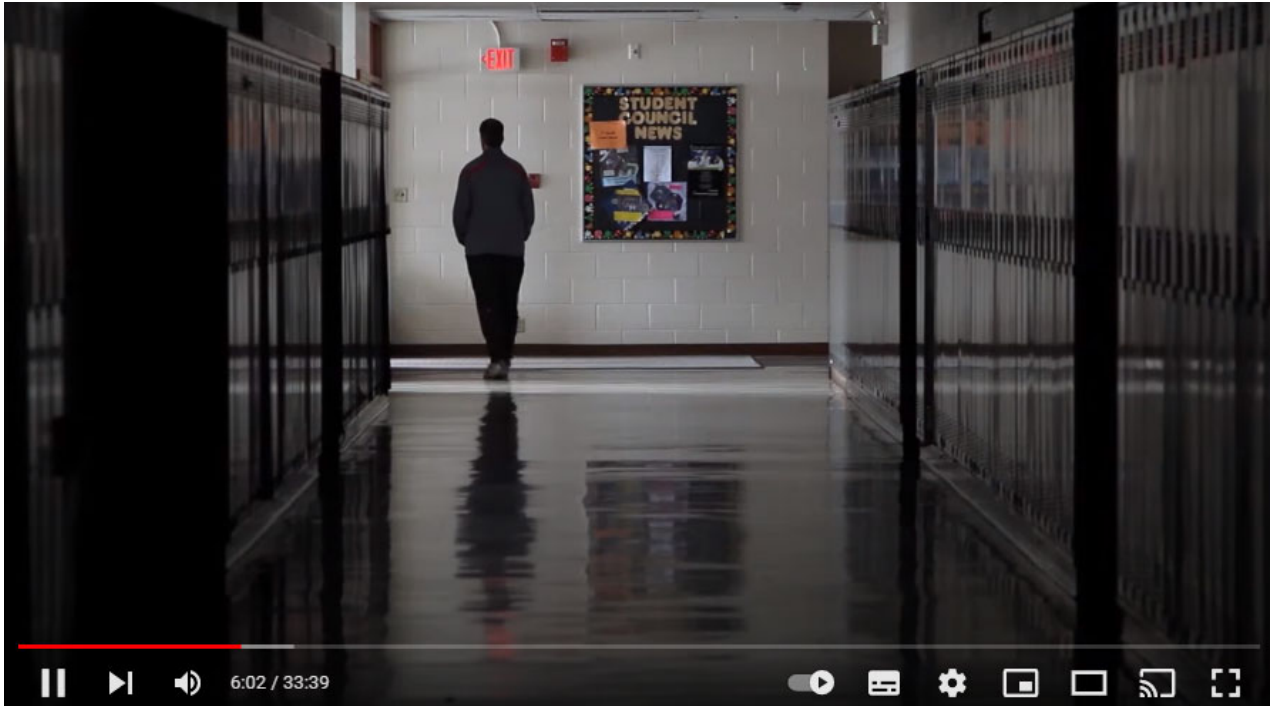
スロットマシンが合法化されました。ギャンブルの歴史では、これが最優秀賞です。今では、個人経営のカフェやホテルでさえもスロットマシンがあり、子供たちは学校から帰宅すると昼食用のお金をスロットマシンで使い果たしました。新聞紙には毎日のように、住宅ローンのお金を使ってスロットで賭け事をしすべてを失った主婦の話が掲載されました。大規模なギャンブルはすぐに制御不能になりました。



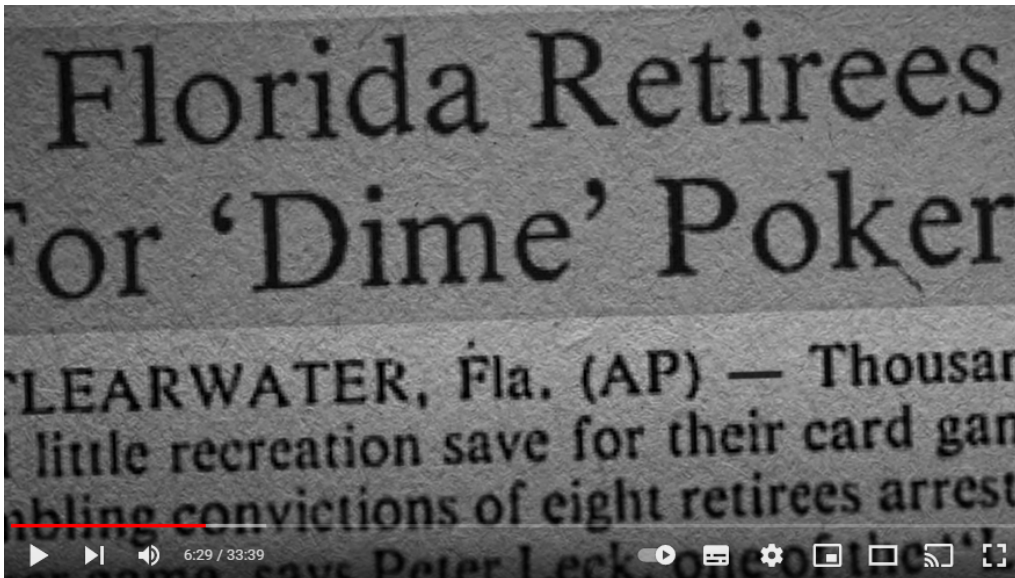
1935 年に合法化されたスロットマシンは 1937 年にすぐに禁止となりました。
1960 年代までにドッグレースとハイアライは州全体に広がり、その後政府はギャンブルのビジネスをさらに拡大させました。



フロリダ州営の宝くじについて知られていないことの 1 つは、パリミューチュエル方式のギャンブルを共食いしたことです。ドッグレースや競馬に賭けたりハイアライを見たりするのを楽しんでいた人々は、代わりにコンビニエンスストアに行って宝くじを買うことができたので、パリミューチュエル方式のギャンブルビジネスを破壊し始めました。



州営の宝くじは、教育資金を強化するという約束を真に実現することは決してありませんが、民間のカジノ業界を巻き込んでいます。法の前に、宝くじはギャンブルを拡大するための最も新しい言い訳となり、パリミューチュエル方式も税制優遇措置やさらなるギャンブルの形として議員から譲歩を勝ち取ることができるようになりました。



その後、1987年に少額掛け金のポーカーをしていた数人の退職者が逮捕され、フロリダ州議会は自宅でのポーカーゲームを合法化するよう促されました。しかし、この一見単純なステップでさえ、ギャンブルの予想外の拡大への扉を開きます。



1988 年、新しい連邦法により、ネイティブアメリカンの部族は彼らの統治領域であらゆる形態のギャンブルが合法的に可能となり、ポーカールームを統治領域で効果的に拡大していきました。

禁止となっていたスロットマシンはフロリダで 70 年後に再度合法となります。

当初は、南フロリダのパリミュチュエル方式の有権者 7 名だけに狭く承認され、スロットが普及することはないと約束しますがその約束は守られませんでした。連邦法は、ネイティブアメリカンの部族にスロットマシンへのアクセスを許可し、フロリダ州とセミノール部族(ネイティブアメリカン)間の合意への道を開きます。組織化されたギャンブルが多く普及してきたフロリダですが、ラスベガススタイルのような巨大カジノは 3 度却下しています。



フロリダ州はギャンブルをすべて取り入れませんでした。取り入れた州もあります。ニュージャージー州アトランティックシティです。鉄道富豪のジョナサンピッツはアトランティックシティを開拓しました。最初のアトランティック

ティックシティの海岸沿いの遊歩道は 1870 年に建設され、その主な目的はホテルのロビーにビーチからの砂が入らないようにするためでした。



20 世紀初頭のアトランティックシティは建築ブームでした。より大きく、より印象的なホテルが建築され、今まであった個人経営のホテルからゲストを奪っていきます。現在バリーズカジノが占めている敷地に建てられたジョサイアホワイトのマールボロブレンハイムホテルは、最も特徴的なホテルの 1 つでした。禁酒法時代の 1920 年代は、アトランティックシティの黄金時代と見なされています。しかしながら、第二次世界大戦の終わり頃にはアトランティックシティはすでに衰退していました。飛行機での旅行と中流階級の台頭により、亜熱帯の観光地へのアクセスが可能になり、すぐにマイアミビーチのような場所が観光地として独占していきました。

そして、カジノ業界が入りこんできたのです。

絶望的なアトランティックシティは、ついにその扉を開きました。



『あなたが弱くなるまで、彼らは待っている』



アトランティックシティは破産状態でした。経済活動は瀕死の状態でした。そのアトランティックシティの「絶望」をカジノ業界は捕らえました。



アイデアとしては、カジノがやって来ることで、この瀕死の海辺の町を活性化することでした。人々はかつての素晴らしいリゾートエリアを復興し活性化するために、そのアイデアを信じ込み、夢中になりました。



『彼らは大きな約束をする』

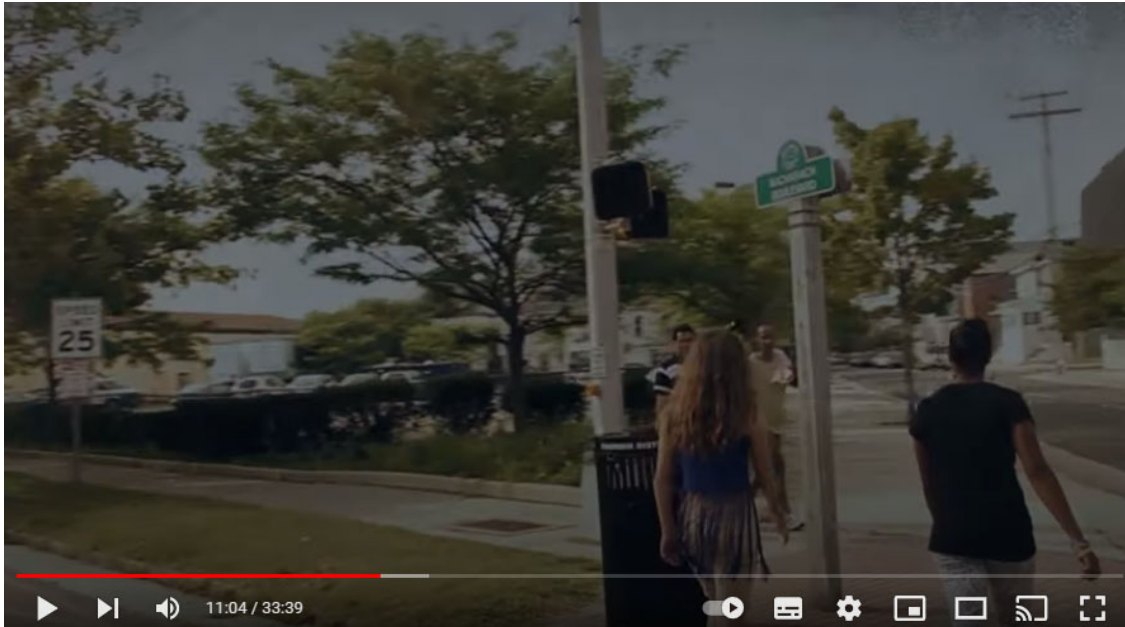


私はアトランティックシティでのカジノギャンブルを支援しました。それは、ニュージャージー州のかつての素晴らしいリゾートタウンを復興させるための手段を提供できるように見えたからです。もし私が今知っていることを当時分かっていたなら、明らかに私は支持しませんでした。何が起こったのか、もっと正確に言えば、何が起こらなかったのかを振り返ると、カジノが始めにした約束は実現せず、アトランティックシティの活性化が起こることはありませんでした。アトランティックシティに行き、遊歩道から数ブロック歩くと、昔と変わらない衰退が見られ、30 年以上前にカジノが承認された当時よりもさらに悪化していることが分かります。

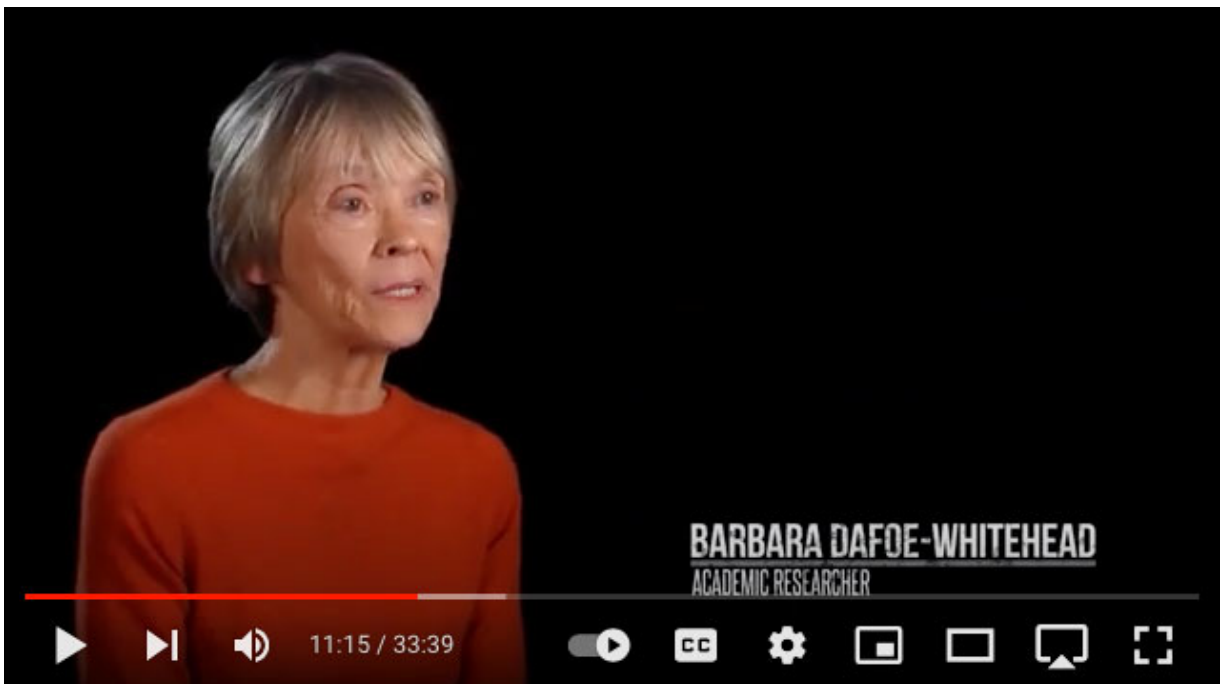


カジノが最初にアトランティックシティにやって来たとき、人々はとても興奮していました。地元の事業主、商売人は、これらのカジノがたくさんの観光客を連れて来て自分たちのビジネスが盛り上がることを期待し信

じていました。しかしながら、実際は自分達のビジネスを傷つけていることを理解するのにそれほど時間はかかりませんでした。カジノというのは観光客を吸い込み、人々をカジノに留めておくことの達人です。カジノで遊んだ人々は家やホテルにそのまま帰宅します。



やがて、アトランティックシティのレストランの 40%と地元の小売業者の 3 分の 1 が廃業しました。カジノギャンブルはアトランティックシティの経済的苦境を立て直すどころかさらに悪化させました。



カジノギャンブルの拡大ストーリーの本当の悲劇は、中小企業が消滅し、レストランが廃業し、他の企業が競争できなくなることです。いったんカジノが入ってくると、カジノ主導の地域経済となってしまいます。そうになると、人々は本当にカジノからの束縛状態になり、地域の大きな産業となってしまったカジノを支援しなければならなくなります。ですが、カジノは地域からさらに富を奪い続けるので、負のスパイラルに陥ってしまいます。



元カジノ従業員：

カジノで勤務していた当時、私の上司が、彼の哲学や彼の仕事での役割を話してくれたことがあります。当時、私は彼を見習おうとしていたわけですが、その時のことを決して忘れません。彼が言うには、彼の役割はカジノで遊ぶ人達をカジノという巨大迷路に留めておくことでした。できるだけ長く留めさせるために、我々には何ができるか・・・

カジノは決して地域のビジネスとパートナーとなることはありません。カジノ自身が、観光客が集まる地域の拠点、中心だからです。



カジノ業界の仕事と税収の約束により、アトランティックシティはカジノを受け入れましたが、その約束された収入は10年経っても果たされることはありませんでした。そして、当局はついに行動します。

当局はカジノ再投資局と呼ばれる新しい組織を作りました。その目的はカジノ業界が約束した収入をコミュニティの再開発に投資させることでした。しかし、時はすでに遅かったのです。この時まで、カジノ業界はすでに地域経済と行政の規制システムを自分達の有利となるように再構成していました。



フランク・ネロ-元ニュージャージー郡政委員：

私はアトランティックシティのカジノ再投資局の最初の執行部長を頼まれました。何人かの行政メンバーと会議をした時のことです。アトランティックシティの市長と私たちはアトランティックシティを活性化するために何をする必要があるかについて話し合っているはずでした。しかしながら実際には、町の活性化についてではなく、カジノをどのようにサポートするかについて話し合っていることは明確でした。



フランク・ネロが会った市長はジェームズ・ウスリであり、後に公的汚職の調査の結果、他の 13 人の政治家とともに逮捕されました。とりわけ、彼は公式の違法行為、賄賂、陰謀の罪で起訴されました。彼が選挙献金違反で有罪を宣告したとき、告訴は後に取り下げられました。最近の 9 人の市長のうち 6 人は、何らかの形の汚職で起訴されました。



ギャンブルは町の産業であるため、カジノは行政と一緒に政策を推進し、行政へのロビー活動を行い、ほとんどの政治家達はカジノの言うことに従います。



立法府の観点から見たカジノ業界の問題は、カジノ業界はどこに行っても立法府をうまくだますことであり、他の業界と異なる点は、地方議会や州議会に対して彼らはロビー活動を行い、議員達が得る報酬が非常に誘惑的だということです。州議会を腐敗させることは、カジノ業界にとって単に彼らのビジネスを行うための必要経費なのです。



アトランティックシティの最新のカジノ Revel のリボンカットは、アトランティックシティが必要としている強壮剤として、カジノ業界アナリストのスペクトルゲームによって歓迎されました。約 1 年後、Revel は破産しましたが、このカジノを再興させるために州から 2 億 6000 万ドル以上の税金が払い戻されました。カジノ業界に依存している地元経済にとって、カジノ Revel を失敗させるには痛手が大きすぎたのです。



アトランティックシティの新しいマーケティングキャンペーンは「ギャンブラー（カジノでのプレイヤー）、求む！」です。それは新しい Revel マーケティングキャンペーンであり、ほとんどのカジノがギャンブラーの確保に焦点を当てています。ギャンブルが彼らのビジネスであり、ギャンブラーは彼らの顧客なのです。



アトランティックシティのようなギャンブルの町を訪れたとき、家族のことを考えることはありません。カジノは家族向けの場所として自分たちをブランド化しようとしたが、「家族」は巨大カジノとは関わりあいを持ちたいとは思いません。「家族」において巨大カジノは家族に問題をもたらすだけです。



カジノでは一見華やかに見えますが、カジノから少し離れると心が痛む現状を目の当たりにします。



ギャンブルは犯罪や依存症をもたらします。麻薬中毒者は 2 倍となり、破産は 10 から 42 パーセント増加、犯罪は 10%増加します。ギャンブル・カジノに良いことはなに 1 つありません。



カジノ業界の関係者達は、どこに行っても毎回同じように「フロリダはアトランティックシティやラスベガスではない」「他の場所で起こったことがあなた達のコミュニティで起きるわけではないので心配しないでください」と言います。ですが、ギャンブルに足を一歩踏み入ると、皆、同じ道を辿るのです。



アトランティックシティが最初のカジノを承認してから約 30 年後の現在も、アトランティックシティは経済的および財政的に疲弊したままです。200 件のレストランが廃業し、食料品店も映画館もありません。

1970 年よりも貧困線以下で生活する住民の割合が高く、世帯収入の中央値は州の平均より 60%低くなっています。一方、暴力犯罪は 500 パーセント以上高くなっています。過去 40 年間で、人口の 3 分の 1 近くが逃げ出しました。アトランティックシティのカジノ業界は 7 年連続で収益が減少しています。昨年だけでも、その利益は壊滅的な 54 パーセント下落しました。その競争が一掃されると、カジノ業界はそれ自体をむさぼり食い始めました。明らかな問題にもかかわらず、アトランティックシティはどうすることもできずその罠にはまったままです。



現在、カジノは業界で最も古い最大の報酬の 1 つであるフロリダに目を向けています。ギャンブルのさらなる拡大に対する防壁用に予算が通ると、州の独創的な協定の再交渉は、フロリダの巨大カジノの新しい議論を開くための最新の言い訳となりました。



レーシアのカジノ複合企業であるゲンティン社は、マイアミに世界最大となるカジノの建設を計画しています。ラスベガスストリップ(ラスベガスのメインストリート)にある最大のカジノの 6 つを合わせたよりも 1 つの屋根の下でより多くのギャンブルができるようになります。ゲンティン社はこの取引を締結させるため、かつてアトランティックシティでも約束された同様の約束をしています。

カジノ業界は再びフロリダ州に戻ってきました。



30 年前にニュージャージー州のアトランティックシティで聞いたのと同じ内容の約束やプレゼンテーションのいくつかについては、ほぼ正確に一言一句でした。それは侮辱的でした。



巨大カジノをフロリダに建築する際、ネバダ州の「ラスベガス サンズ」とマレーシアの「ゲンティン社」によって主導されました。彼らの目標は、巨大カジノをフロリダに建築できるようにフロリダの規制システムを再構築することです。フロリダをラスベガスのように作り直します。タイミングは偶然ではありませんでした。フロリダ州はいまだ大不況から復興できていない状況でした。収入に飢え、雇用増加に必死でした。



あなた達には働き口が必要ではないですか。どのような働き口でも必要ではないですか。



『弱くなるまで、それは待っている』

彼らは私達が弱い時にやってきます。私たちの経済が悪い時、彼らはより多くの雇用と豊富な政府収入を約束して、選出された公務員と有権者を誘惑しようとします。



[カジノ複合企業ゲンティン社 America 社長]

「我々の業界(カジノ業界)は 10 万人の雇用を創出し、70%はマイノリティと女性になるでしょう。アジア太平洋やヨーロッパからの直行便とチャーターの半分の座席が我々の顧客で埋まることを保証します。そして、400 万から 600 万人の観光客がくるでしょう。毎日、上海、北京と香港に直行便が飛び、10 便の国際線が飛ぶことを保証します。5 万人の雇用を作り、州はすべての人の利益を最大化するために最大 17 億ドルを投資します。この取引は誰もがウィンウィンなのです。」



これは、人々に賭けをするよう説得することで生計を立てている業界です。あなたにとって高額収入を得る可能性があるかもしれませんが、それ以上に莫大な金額を失うリスク、そしてあなたにとって重要な他のことを失うリスクの方が高いのです。彼らが約束しようとしている主張は非常に馬鹿げていたので、カジノを合法化したであろう法案のスポンサーでさえ、「馬鹿げた主張だ、この主張であなたの案件が悪く見えますよ」と言っていました。



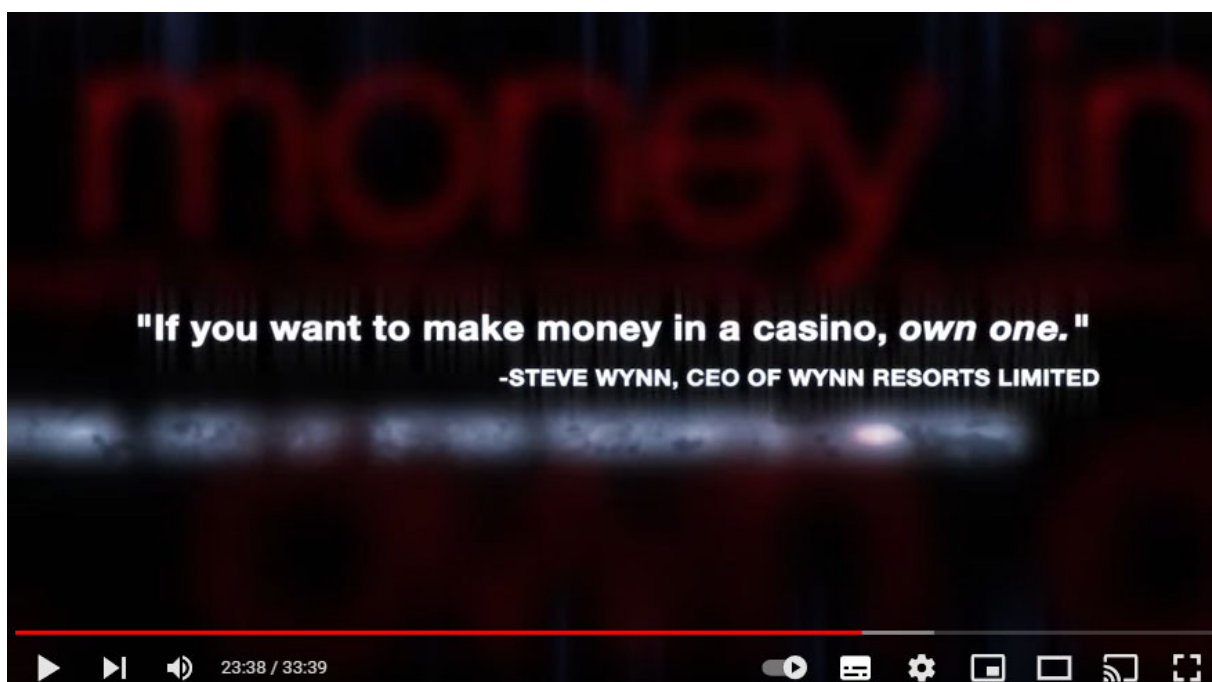
これらの巨大カジノは、数百万ドルを投じ、10 万人の仕事を追加し、さらに 2 万人の仕事を追加すると主張します。巨大カジノは地域にとって良い考えだと人々に思わせるために彼らは必要なことは何でも言うでしょう。



すべてのスロットマシンは、台ごとに年間 30 万ドル相当を人々から吸い上げます。スロットマシンは雇用を生み出しません。人々は自分のお金をスロットマシンに捨てているだけです。スロットマシンに年間平均 30 万ドルが費やされているということは、車、冷蔵庫、コンピューター、医療、および基本的な教育や医療費にそれらのお金が費やされていないということです。経済においてはスロットマシンごとに年間 1 つの失業に相当します。



カジノの成功ということは、人々の損失を意味します。カジノがより多く成功するためには、地域の損失を増やす必要があります。その損失がカジノの成功であり、カジノの従業員にとってはそれが彼らのボーナスを得る手段となります。



カジノ業界が、観光ベースの経済と共存できること、またはカジノが仕事、収入、経済活性化の約束を果たすことができることを示唆するエビデンスはほとんどありません。ラスベガスのメインストリートの華やかさにもかかわらず、ラスベガスは国内で最も経済回復が遅い町の1つとして掲載されており、暴力犯罪、車の盗難、差し押さえ、強盗、離婚、失業で最悪のランクにランクインされています。

全国的にみても、カジノ経済による経済回復は他の業界より遅れをとっているか、完全に行き詰まっています。それにもかかわらず、カジノの関係者はフロリダ州でも同じシナリオを使い同じ約束をしています。

彼らの戦略・・・それはお金です。



『彼たちは影響力を発揮する』



私がフロリダ州マイアミでのプレゼンテーションに行ったとき、選出された役人の何人かと話しましたが、彼らは驚くほどギャンブル・カジノについての知識がほとんどなく、当時影響力のあったコンサルタントやロビー活動者によってマイアミでの巨大カジノを支持することは明らかでした。



ゲンティン社のラスベガススタイルのカジノの計画についてフランクネロはマイアミ新聞のインタビューを受けた時にアトランティックシティの話をしました。しかしアトランティックシティの話は、カジノにすでに興味のある人達が聞きたい話ではありませんでした。マイアミでのビーコン評議会に物申しするため、3年間の契約に署名したばかりにもかかわらず、彼の見解が公表された時、フランクネロは17年間務めた役職を辞任することを余儀なくされました。



ビーコン評議会からは、私が去らなければ評議会の資金が危険にさらされる可能性があると言われたと、ある人は私に言いました。彼らが私を黙らせたいと思っているのは非常に印象的でした。この巨大カジノの取引を承認させ、この道を進んでいくようにすでにルールは敷かれていました。



カジノ業界は事案が必然的に起こるかのようなオーラを構築しようとしています。いつそれが現実になるかは時間の問題です。現実になるまでの過程で異議が唱えられますがそれらは打ち砕かれます。



地域で巨大なそして支配的な存在になるとき、カジノはまるで生きているモンスターのようです。モンスターに小さな石を投げて私達に勝ち目はありません。莫大な資金が動き、カジノに関与し恩恵を享受している人達がたくさんいるのであれば、我々は黙って見ているしかないので。



その影響にもかかわらず、2012 年にフロリダ州議会が巨大カジノの合法化を却下し、マレーシアからのゲンティン社は深刻な後退に見舞われました。

一方、「ラスベガス サンズ」は、マカオにある彼らの施設で一晩に 110 人の売春婦と 22 人の売春斡旋人が逮捕されたというニュースを含む、一連の法務および広報の危機に見舞われました。また、2 つの連邦捜査の対象にもなりました。1 つは連邦マネーロンダリング調査に関連し、もう 1 つは海外腐敗行為防止法違反の可能性に関するものです。

これらの悪いニュースにもかかわらず、カジノ業界はフロリダ州を捕らえて放しません。この案件から得られる報酬は引き返すにはあまりにも大きすぎます。ラスベガスサンズのゲンティンベルハッドは、前例のないラスベガススタイルの巨大カジノを合法化するためさらに懸命にロビー活動を行っています。

そして、2014 年春、フロリダ州の立法会議での重要な対決が始まります。



カジノがドアに足を踏み入れたら、ニュージャージー州のアトランティックシティで起こったのと同じこと、そしてラスベガスで起こったのと同じことがフロリダでも起こるはずで。それはフロリダがとるべきリスクではありません。



マイアミには、大きな国際的なカジノが持ち込むすべての毒を処理することはできません。アトランティックシティよりもよく出来る、ということを議論するのは無駄なことです。これは明確な質問です。地域のビジネスや人々を傷つける有毒なビジネスをあなたはマイアミに持ち込みたいですか？



私は、黒人であろうと白人であろうと、金持ちであろうと貧乏人であろうと、まっとうな人間が、この危険な娯楽環境に身を任せるのがいかに簡単であるかを見てきました。



ギャンブルは教育を受けたまじめな人々でも狂ったことをさせます。

ギャンブルは私の人生を台無しにしました。私は 27 年間病院で働いていましたが、違法なギャンブルに手を染めてしまいました。様々な依存症と同様に、いつか見つかって逮捕される、と分かっているにもかかわらず自分自身を止めることができませんでした。週末は、まるで逃げ道を見つけることができないような感覚でした。その結果、私は 27 年間勤めあげた職を解雇されました。ギャンブルは中毒の獣です。自分のことがとても恥ずかしいです。





カジノで働いていた当時、ある日、一人の女性から電話がありました。彼女のことを知りませんし、彼女がどうやって私の内線を知ったかは知りません。電話を取るとその女性は、「郵便物を私に送るのをやめなさい。私の夫はもういないです。あなた達は彼を破壊しました。もうこれ以上私を構わないで。私を放っておいてくれ。」と言いました。プレイヤーがお金を失い、その果てに離婚をしたり、自殺してしまうという話を何度も聞きます。一人のプレイヤーがこの道をたどり、また新たなプレイヤーが同じ道をたどります。このサイクルは継続的であり、カジノはいつまでもこの負のサイクルのプレイヤーを吐き出し続けています。私は数えきれないほど多くの人が同じ道を辿っていくのを見てきました。カジノでは各プレイヤーが失った金額をデータベースで表示しています。それは人々の生涯の損失を意味しています。人々が、10年、20年、30年と節約して貯金したお金は、数カ月や1年の短期間でカジノでは失います。そのような生涯の損失からどのように回復することができるでしょうか。

